



2007年3月22日

【報道関係各位】

ディーアンドエムホールディングス  
米国ハイエンドオーディオ販売のマッキントッシュ・ジャパン設立  
4月より日本市場での本格的な販売・修理サービスを開始

株式会社ディーアンドエムホールディングス  
株式会社マッキントッシュ・ジャパン

株式会社ディーアンドエムホールディングス（東証1部6735 本社：神奈川県川崎市、代表執行役共同 CEO：株本 辰夫）は、2003年3月にグループに加わった米国ハイエンド・オーディオブランド「マッキントッシュ」製品を本格販売するため、この度、100%子会社として株式会社マッキントッシュ・ジャパン（本社：東京都中央区 代表取締役 稗田 浩）を設立し、本年4月1日より日本市場での販売および修理サービスを開始いたします。

マッキントッシュブランド製品はこれまで日本では販売代理店（(株)エレクトリ）により販売されてきましたが、2007年3月末での販売代理店契約終了に伴い、新会社（株）マッキントッシュ・ジャパンが日本における同ブランドのホーム製品の販売及びアフターサービスを行います。

また、マッキントッシュ・ジャパンの活動開始を記念し、ベストセラー・プリメイン・アンプであるMA6900をベースにした限定モデルを発売いたします。

日本のオーディオマーケットは全体的にはスローダウン傾向が続いていますが、ハイファイマーケットについてはここ数年伸長しております。これは団塊の世代を中心に高級オーディオ機器の需要が拡大していることや、ニューリッチ層の増加、またモーツァルトの生誕250年などを背景としたクラシック音楽がブームとなり市場に影響を与えているものと考えられます。

マッキントッシュ・ジャパンは、1960年代オーディオ全盛期に憧れのブランドであったマッキントッシュをよく知る団塊の世代を中心に取り込むとともに、音楽愛好家をオーディオファンに育成するためのマッキントッシュサウンドの体験の拡大を図るなどによるファン層の拡大、ハイエンドイメージを維持・向上させる広告活動・店頭プロモーション強化策、独自のセールスチームが販売店とのコラボレーションやパートナーシップをより一層強化するためのきめ細かい施策を展開してまいります。また、修理サービスについても、マッキントッシュ製品専用の修理工房の設置、修理担当者の米国マッキントッシュ・ラボラトリーへの派遣研修などを通じ、プレミアムブランドにふさわしいレベルを実現してまいります。

なお、マッキントッシュ・ジャパンでは、高級スピーカー・ブランドのスネル・アコースティックス製品も取り扱います。本日はフラッグシップ・モデルの Illusion A7 も併せてご紹介いたします。

### **株式会社ディーアンドエムホールディングスについて**

ディーアンドエムホールディングスは家庭及び業務用プレミアムホームシアターならびにオーディオ・ビデオのトップブランドとして知られる各社で構成されています。主たるブランドには、デノン、マランツ、マッキントッシュ、ボストン・アコースティックス、スネル・アコースティックス、リプレイ TV、エシエント、D&Mプロフェッショナル等があります。詳細については <http://www.dm-holdings.co.jp> をご覧下さい。

### **マッキントッシュ・ラボラトリーについて**

米国マッキントッシュ・ラボラトリー社は1949年にニューヨーク州ビンガムトンでフランク・マッキントッシュ氏により設立され、ハイエンドのオーディオ、ホームシアターの設計・製造を行っております。マッキントッシュブランドは、品質、高性能、クラフトマンシップ、耐久性、そして消費者への優れたサポートサービスなどに定評があり、特に高級アンプに代表される製品は昔から統一されたデザインで、黒いガラスのフロントパネルにブルーに浮かぶメーター類は世界中に浸透しており、日本のオーディオマニアの間でも憧れのブランドとして知られています。

◇マッキントッシュ・プレサイト: <http://www.mcintoshlabs.jp> (ウェブサイトは 4/2 公開予定)

----- 本資料に関するお問い合わせ先 -----

(株) マッキントッシュ・ジャパン 広報・宣伝マネージャー 花田 仁  
TEL.03-6731-5551  
FAX.03-3551-8122  
E-mail: customer\_support@mcintoshlabs.co.jp

## マッキントッシュ・ジャパン設立記念モデル

マッキントッシュの人気インテグレートッド・アンプ  
MA6900 のリミテッドモデル、ついに登場。

# MA6900G

希望小売価格(税込)	発売時期
798,000円	2007年4月下旬

### ■MA6900G の開発背景

マッキントッシュの伝統、出力オートフォーマーや5バンド・イコライザーなど、マッキントッシュが培ってきた数々のテクノロジーを惜しみなく投入したインテグレートッド・アンプ「MA6900」が誕生して5年余り。その優れたパフォーマンスは世界各国で高い賞賛をいただいています。

2007年4月より、米国マッキントッシュ・ラボラトリー社の日本法人となる㈱マッキントッシュ・ジャパン設立記念として、「MA6900」のリミテッドモデルとなる「MA6900G」を企画いたしました。

「MA6900G」は、「MA6900」の基本設計をベースとし、ゴールドステンレスシャーシ、高級感溢れるスピーカー端子の採用など、細部にわたってブラッシュアップ。またマッキントッシュ・ラボラトリー社の統括責任者であるチャーリー・ランドールの直筆サインをトップカバーに印刷、100V、日本仕様限定発売とすることで、よりプレミアム感を出しています。

### ■MA6900G の主な特徴

大ヒットモデル「MA6900」の限定モデルで、基本性能を変えずに細部にわたってブラッシュアップしました

- ① 強靱で確実なケーブル接続を保証するハイグレードなスピーカー端子を採用しました。
- ② シャーシ部、サイドパネルに高級感あるゴールドステンレスパネルを採用しました。
- ③ 「MA6900」の基本設計をベースにしながら、さらなるクォリティーの向上をはかりました。
- ④ マッキントッシュ・ラボラトリー社の代表チャーリー・ランドール氏の直筆サインをトップカバー中央部に印刷。
- ⑤ 100V 日本仕様限定生産 150 台(通し番号表記)

## ■MA6900G の主な仕様

### パワーアンプ部

定格出力:ステレオ 200W+200W (2/4/8Ω)

入力感度/入力インピーダンス:2.5V/20kΩ

### プリアンプ部

入力感度/入力インピーダンス:LINE 250mV/22kΩ、フォノ 2.5mV/47kΩ (MM)

ゲイン:20dB(LINE→プリアウト)、0dB(ライン→テープ出力)

### 一般

全高調波歪率:0.005%以下

スピーカー出力:1系統×3(2Ω用×1、4Ω用×1、8Ω用×1)

出力端子:プリアンプ出力 RCA×1 系統、録音出力 RCA×1 系統

入力端子:LINE RCA×6 系統、LINE XLR×1 系統、フォノ MM×1 系統

消費電力:4.8A

最大外形寸法:W445×H179×D476mm

質量:34kg

リモコン付属





## 2007 Snell Acoustics(スネル・アコースティックス)社

学問と芸術の都ボストン Snell ACOUSTICS 社が開発した  
フラッグシップ スピーカー日本初上陸！

# Illusion A7

モデル名	希望小売価格(ペア、税込)	カラー	発売予定
A7	4,725,000 円	ブラック	2007年7月

### ■Snell Acoustics(スネル アコースティックス)社の歴史

Snell Acoustics(以下 Snell)社は、1976年の設立以来30年近くにわたって世界中のオーディオファンを魅了するハイエンドスピーカーシステムを送り出してきました。創業者である Peter Snell(ピーター・スネル)は1974年、スピーカーシステムの重要な要素のひとつとなる軸上(on-axis)と軸外(off-axis)の特性に特に着目し、音楽信号の色づきを極限まで低減したスピーカーシステムの開発に着手しました。Peter Snell は、①極めて低い回折、②0.5dB レベルまで精密に管理された再生クロスオーバー、といった妥協の無い2つの高い水準を開発段階で要求します。そして1976年に、同社初となるハイエンドスピーカーシステム<Type A>を発表しました。

同社は、米マサチューセッツ州 Newburyport(ニューバリーポート)の小さな工房からスタートし、1980年にはスピーカーシステム<Type One>を発表しました。以後3年にわたって、<Type E>、<Type J>の2モデルを登場させました。これらはともにキャビネットを内製化し、ユニークな技術を盛り込んだハイパフォーマンスモデルで、各方面から高い評価を得てきました。1982年、業績が順調に推移してきたのをきっかけに、業務の拡大とともに工場を Newburyport から Haverhill(ハーバーヒル)へと移転しました。

1983年、Peter Snell は Snell の代表モデルとなる新製品2機種<Type C>、<Type K>を開発しました。しかしこれらのモデルは、Peter Snell が手がけた最期のスピーカーシステムとなってしまいました。1984年9月20日、Peter Snell は業務が多忙を極める中、心臓発作によって息を引き取ります。彼の没後、彼のビジネスコンサルタントであった William Osgood(ウィリアム・オスグッド)博士が Peter Snell の意志を引き継ぎ、Snell 社の代表取締役役に就任しました。

1995年、Snell社はデンマークのオーディオ複合メーカー〈Audio Nord(オーディオ ノルド)〉の傘下に入ります。その後、米スピーカーメーカーのBoston Acoustics(ボストン アコースティック)社に買収されました。同年6月、Boston Acoustics社の完全子会社となり、新たにDavid Smith(デビッド・スミス)がチーフエンジニアに就任しました。David Smithはかつて、JBL、KEF、MeridianやMcIntoshで設計とマーケティングの業務に携わっていました。

2003年、SnellのチーフエンジニアはDavid SmithからJoseph D' Appolito(ジョセフ・ダポリート)博士に引き継がれました。著名な〈D' Appolito 配列〉は、彼が20年以上にわたってAudax(オーダックス)やSEAS(シアーズ)といった有名なドライバーのために多くのデザインを含む商業用スピーカーシステムの開発を続けてきた結果です。彼は比類なきスピーカーシステムを評価するオーソリティーです。

Josephが手がけた〈Series 7〉は、数あるコンパクトスピーカーシステムの中でも非常にパフォーマンスの高いモデルです。よりコンパクトなモデルをお探しのオーディオファンに向けたコンセプトで、限界帯域ギリギリでもよりインパクトとリアルさを持ち合わせる特性をもちます。〈Series 7〉各モデルは、Gerd Schmieta(ジェラード・シュミエッタ)デザインの衝撃的な工業デザインが組み合わされたD' Appolitoの手腕と創設者Peter Snellの開発ポリシーとが見事に融合しています。キャビネットの設計についても、HaverhillにいるSnellの伝説化された職人のクラフトマンシップによって、現在Boston Acoustics社が拠を構えるマサチューセッツ州Peabody(ピーボディ)の工場です。

Snellは、25年以上にわたりプレミアム・ハイエンドスピーカーシステムを開発、製造してきました。Snell製品は、常に高性能であると認知されてきましたが、一方でリーズナブルな価格で提供されています。ユニークな自社製造キャビネット、入念な手作業による組み立て、そして5dBシステムチューニングといったテクノロジーは、Snellにパフォーマンスのパワーを与えてきました。Snellは、これまで培ってきた伝統を継承しながら、世界的な工業デザインと多くの技術革新を融合しながら進化を続けます。

Snellに課せられた命題は、永遠に変わることがありません。

それは、オーディオ業界のための基準である品質のスピーカーシステムを設計し、ていねいに手作りすることです。

#### ■Illusion (イリュージョン) A7の主な特徴

- ・ 25mm シルクドームツイーターを2基のネオマグネット 135mm マグネシウムコーンが上下にサンドイッチする、ポイントソース配列であまりにも有名な〈D' Appolito Array〉理論により、コンピューター解析によってミリ単位まで厳格に配置されます。この配列によって、位相特性とユニット間のシームレスなつながりを実現

しました。

- 大入力でも歪み感の少ない2基の 250mm マグネシウムウーファーは165リットルもの内容積をもつ〈constant pressure〉キャビネットに最適なチューニングでマウントされます。これにより音の俊敏な立ち上がり、極めて広いスイートスポットを確保しました。
- これらの優れたユニットがもつポテンシャルを最大限発揮するために新規開発されたクロスオーバーネットワーク回路は、低音域・中音域及び高音域をそれぞれ完全独立して信号伝送します。スムーズでニュートラルなサウンドバランスと広いダイナミックレンジをキープしながら、全帯域にわたり音色の統一感をはかっています。
- キャビネットは自社内にある専用の工房で熟練の木工職人により1台1台入念にハンドメイドで組み立てられます。彫刻の様に優美でエレガンスな外観仕上げでありながら、ダンピング特性を大幅に向上した革新的なマルチレイヤー構造を採用、フロアスタンディング型スピーカーシステムのトータル性能に大いに貢献しました。

#### ■ Illusion A7の主な仕様

＜主な仕様＞

周波数レスポンス	27Hz－40kHz(±3dB)
入力感度	89dB
定格インピーダンス	8Ω
クロスオーバー周波数	250Hz、1.8kHz、3kHz
推奨アンプ出力	250－1,000W
高音域	25mm シルクドーム
中音域	135mm コーン×2基
低音域	250mm コーン×2基
外形寸法	H: 1,499 × W: 381 × D: 533mm
質量	77kg



